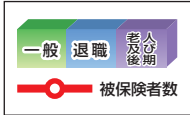


# 栃木県計のグラフデータ

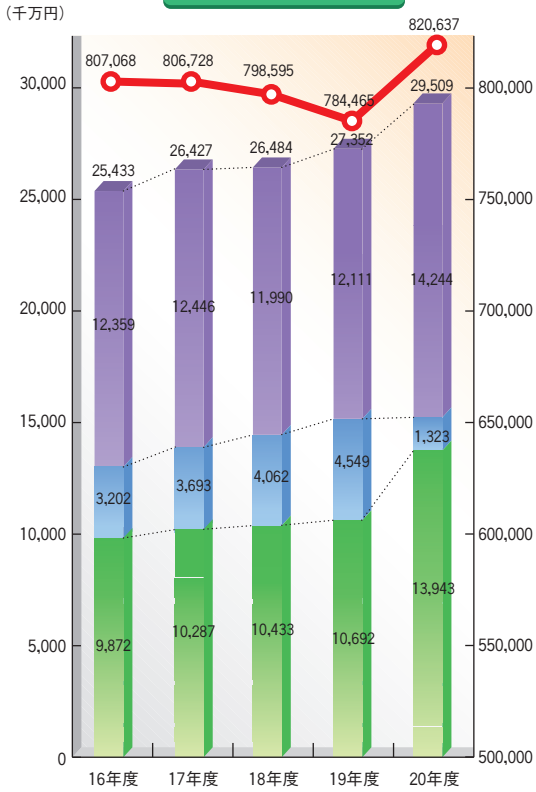




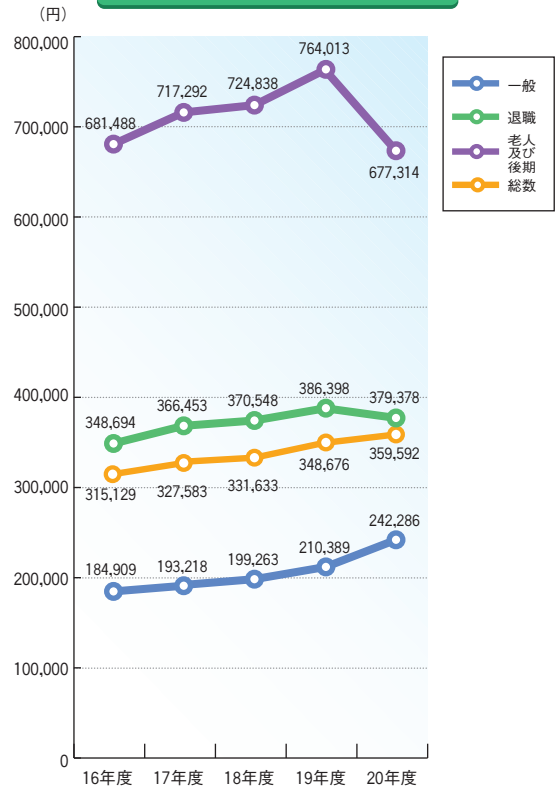
# 栃木県



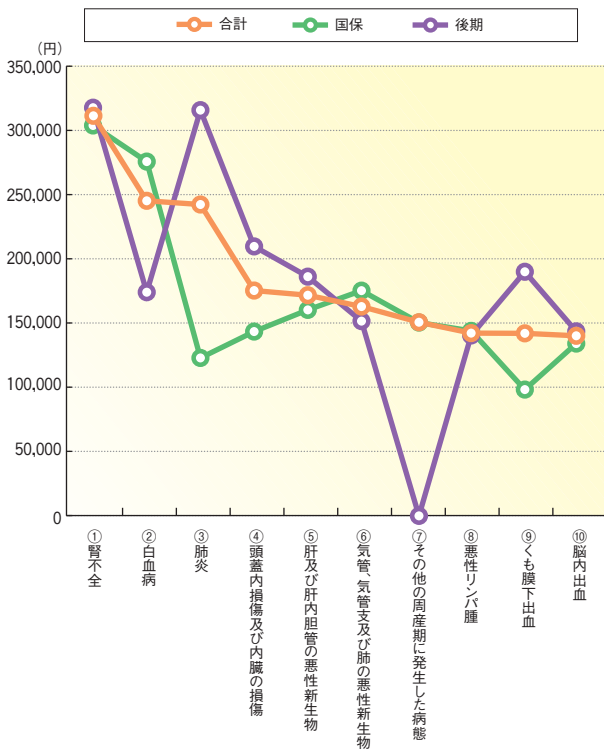
## 医療費の推移



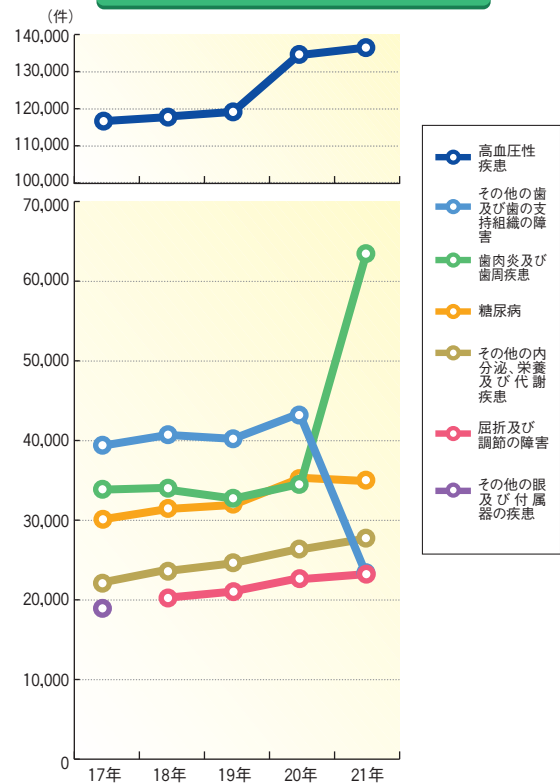
## 1人当たり医療費の推移



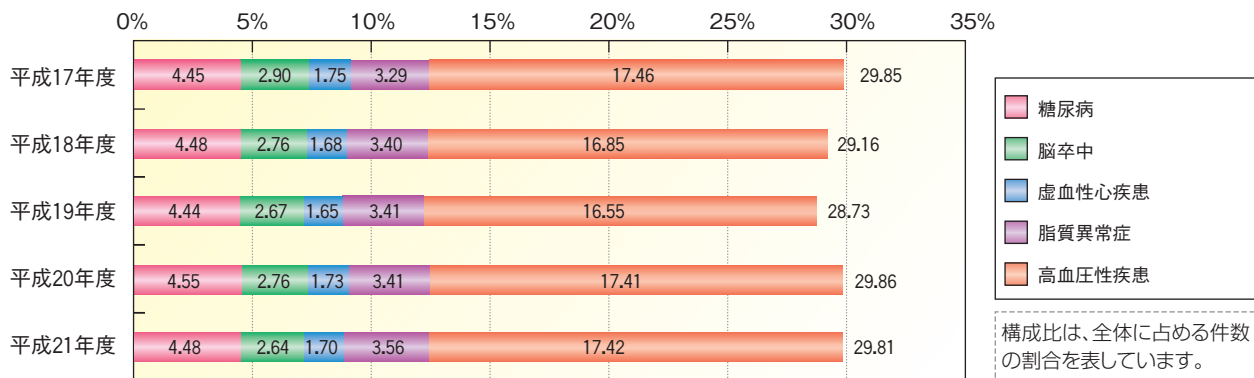
## <中分類別>1件当たり費用額上位10位



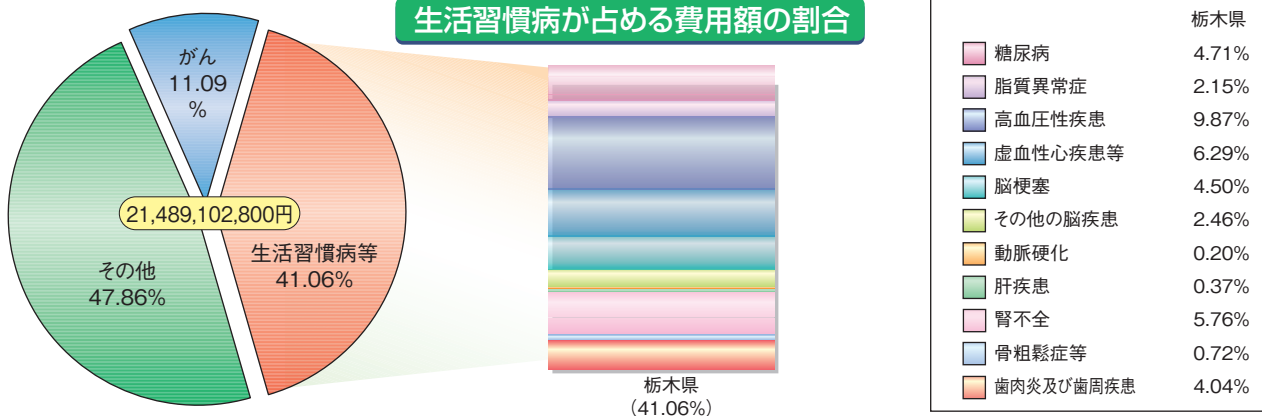
## 多受診疾病上位6位の推移



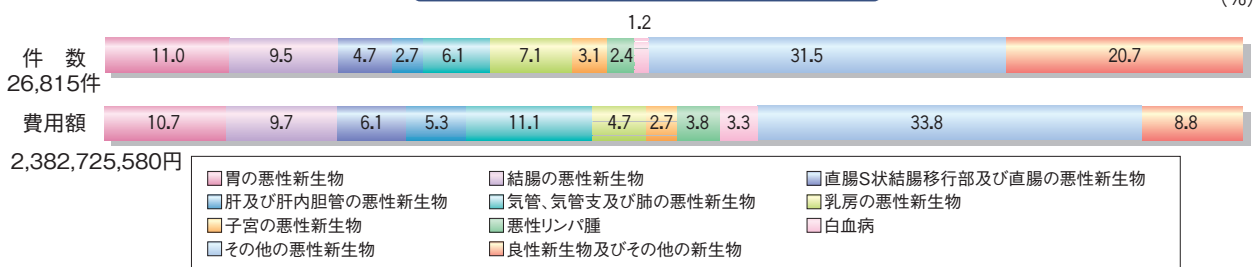
### 生活習慣病5年間の推移(構成比)



### 生活習慣病が占める費用額の割合



### がんの件数・費用額割合(部位別)



### 栃木県の状況

#### ★医療費の状況及び被保険者数

平成20年度の医療費(療養諸費及び医療諸費)の推移をみると、一般139,429,253千円(130.4%)、退職13,225,132千円(29.1%)、後期142,440,461千円で全体的にみると295,094,847千円(107.9%)と増加している。

被保険者数の状況を見ると平成20年度平均被保険者数は820,637人(104.6%)で、内訳は一般575,475人(113.2%)、退職34,860人(29.6%)、後期210,302人である。

また、平成20年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は359,592円(10,916円増)、一般は242,286円(31,896円増)、退職は379,378円(7,020円減)、後期は677,314円である。( )は前年度と比較。

#### ★疾病の状況

平成21年5月診療分の1件当たり費用額上位10位をみると、1位腎不全311,352円、2位白血病245,851円、3位肺炎242,441円となっており、2位、5位、6位、8位の4疾病が大分類の新生物にあたり、上位10疾病中最も多い分類となっている。

平成21年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位糖尿病、4位その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、5位その他の歯及び歯の支持組織の障害、6位屈折及び調節の障害で、前年と上位6位の疾病に変わりはない。中でも2位の歯肉炎及び歯周疾患は前年より件数で1.8倍、費用額で2.2倍に増加している。一方、5位のその他の歯及び歯の支持組織の障害は、件数、費用額共に半減している。

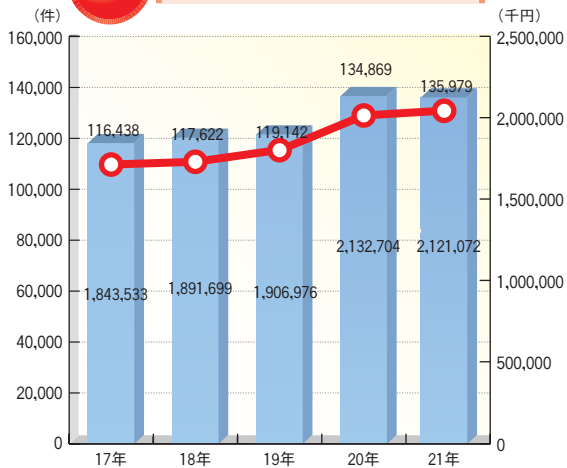
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、脂質異常症が占める構成比は年々増加しており、昨年と比べ104.4%の伸びとなっている。(県全体29.81%)

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成21年5月診療分の総費用額が21,489,102,800円で、がんが11.09%、生活習慣病関連が41.06%を占めていることがわかる。生活習慣病関連で占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患9.87%、虚血性心疾患等6.29%、腎不全5.76%となっている。

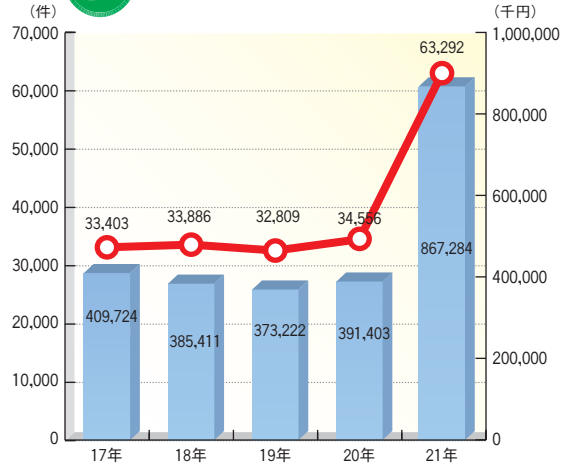
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、件数、費用額共に胃の悪性新生物の割合が高く、共に3番目に高い割合を占めている。

# 多受診疾病 上位6 の年次推移

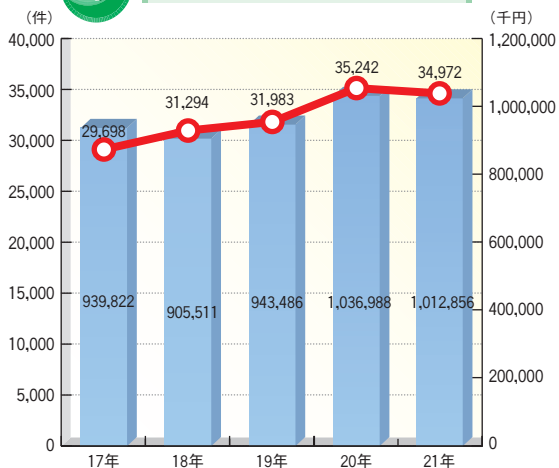
## 1位 高血圧性疾患



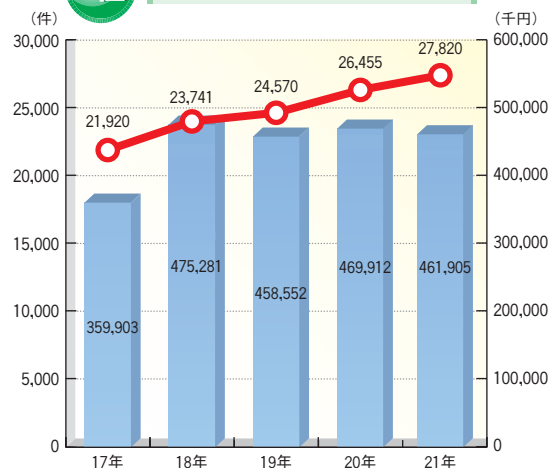
## 2位 歯肉炎及び歯周疾患



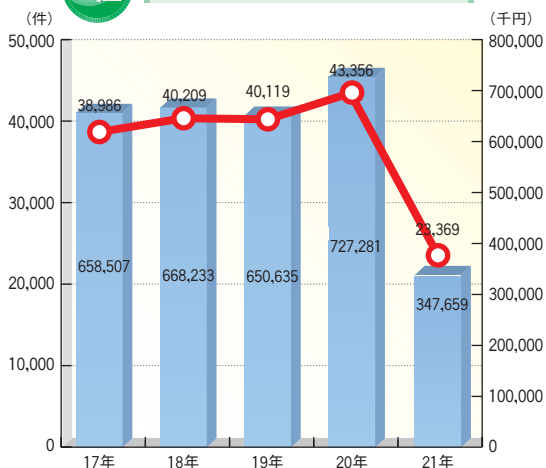
## 3位 糖尿病



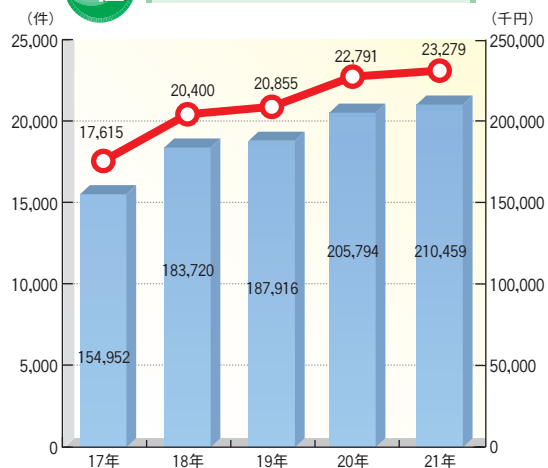
## 4位 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患



## 5位 その他の歯及び歯の支持組織の障害



## 6位 屈折及び調節の障害



受診率と1人当たり診療費の相関図

1人当たり  
診療費(円)

